

おやごころ

http://www.yamaguchipta.jp/



発行年月日：平成24年2月24日 発行：山口県PTA連合会広報委員会
山口県児童総数 74,863人・生徒総数 37,221人
(平成23年5月現在)



ぶちうまい！ こころも体も育てる 山口県の食育

生きる上での、知・徳・体の基礎である『食』。
嫌いなものを1つずつ少なくしていくことで、いろんな栄養を摂ることができます。ご飯に合うおかず、パンに合うおかず、ジュースにすると美味しい野菜や果物、ちょっとしたアイデアで食べられなかったものが食べられるようになるかも？栄養のバランスも考えながらチャレンジしてみましょう。いっぱい食べて『食』を大切に心育てよう！！



2001年に「弁当の日」を始めた本
竹下和男校長先生編の本
弁当の日とは、子どもが自分で食べる弁当の、献立作り、買い出し、調理、弁当箱詰め、片付けのすべてを1人でいう食育の取り組み。全国で、800以上の学校で実践されているこのたびの表紙レイアウトの参考にしました。

犯罪・非行防止標語コンクール

応募総数906点の中から
入賞作品の結果を発表いたします。

＜万引きは犯罪です！＞

昨年山口県下では、刑法犯少年の約5割が万引き・自転車盗で、その8割が小・中・高校生です。本年度、山口県PTA連合会では「万引き防止」「自転車盗防止」をテーマに、犯罪・非行防止を図るための標語を募集しました。



会長賞

見ているよ あなたを見守る やさしい目
国行 咲良 (佐賀小学校2年)

「いけないよ」 友達止める その勇氣
植林 みなみ (萩東中学校1年)

見守ろう 多くの目と手で 地域の子
堤 真理 (伊佐中学校PTA)



優秀賞

山中 彩耶可 (明倫小学校5年) 河口 麗 (玖珂中央小学校4年)

伏谷 亜矢香 (萩東中学校2年) 有重 笙太 (秋月中学校1年)

山中 裕子 (明倫小学校PTA) 石掛 美枝子 (藤河小学校PTA)

おしらせ

「日本PTA中国ブロック研究大会山口県しものせき大会」

とき 平成24年11月18日(日) ところ 海峡メッセ下関

中国5県からPTAの方々をお迎えし、大満足していただけるよう、下関市P連では準備委員会を立ち上げて、全力で取り組んでおります。皆様のお越しを心よりお待ちしております！

～お詫びならびに訂正～

おやごころ100号のマップに掲載いたしました山下工業所様の位置図が違っておりました。申し訳ございませんでした。お詫びして訂正いたします。

株式会社 山下工業所
下松市東海岸通り1-27

打ち出し板金の
技能を駆使して
作られた
アルミちよるる



「おやごころ第100号」山口県クイズの回答

おやごころ100号で掲載しました「山口県クイズ」に多くの皆様に応募頂きまことにありがとうございました。正解者の中から抽選で図書カードを送付いたしました。

◆第1問 ② 飛耳長目

◆第2問 ① 夏みかんの花

◆第3問 ① 来ている

◆第4問 ③ 山田顕義

◆第5問 ② およそ4時間30分

詳しくはHPをご覧ください。

「おやごころ第100号」の感想

第1号が昭和49年発行と知り大変驚きました！山口県クイズや方言コーナーなども「これ知っちゃう??」と会話のネタになり親子で楽しめました。第100号楽しく読ませて頂きました。地図を早速貼って親子3世代で盛り上がりました。「ウチは写真の所ほとんど行ってるわ〜。」(母)「あーオレ、ここ行ってみたい〜!!」(息子)「え〜!? あんたそこ行ったことないかいねえ??」(私) 同じ山口県内のPTAの一員として、各地のPTAの皆さんの活動を知ることができ、とても励みになりました。

また、101号の感想をお寄せ下さい。



編集後記

田畑に囲まれたわが家では、食事作りはまず畑から野菜を収穫することから始まります。収穫するのは子供たち。大きな大根を抜いて、冷たい水で洗って台所に運んでくれます。食卓には生産者の父、収穫した子供たち。親子三代、家族そろって郷土料理のけんちょうに姿をかえた大根をおいしくいただきます。わが家の食卓です。 加藤美智子

丹精こめて作った100号ができたときは感動でした。そして101号の発行。大変でしたが、とても良い経験をしました。家族の食を支える者として食育について考えることもできました。地産地消についてもいろんな発見ができ、なんだか得した気分になりました。みなさんも地元の地産産を調べてみませんか？ 嬉しい発見があるかもしれませんよ。 岡田真由美

食育特集いかがでしたか。学校給食や家庭での食事を通して、子供達に少しでも命をいただく有り難さが伝われば幸いです。 田中小百合



PTA会員の補償制度

個人で加入

各PTAが団体で加入

小学生・中学生総合保障制度

お子さまの24時間のケガ・賠償責任・育英費用・持物(学校管理下のみ)・熱中症・細菌性食中毒・病気の補償をします。

2012年度新プラン「地震・噴火・津波補償」

・お子さまが地震もしくは噴火またはこれらによる津波でケガや万一の時に補償されます。(傷害補償)
・扶養者が地震もしくは噴火またはこれらによる津波でケガや万一の時に補償されます。(育英費用補償)(CQプラン、CQPプラン)

標準セット「自転車保険セット」

全プラン(Cプラン除く)自転車保険セット
自転車事故でのケガの補償が手厚くなります。

大好評「育英費用増額オプション」

扶養者の方が事故で万の場合や重傷の後遺障害を負った場合に育英費用が増額されます。(Cプラン除く)
※プランによっては補償内容が異なります。
新年度に各学校を通じて加入者を募集します。

○制度引受保険会社：AIU保険会社

■問い合わせ先／山口県PTA連合会 ☎(083)925-6778

山口県PTA研修大会in美祢

(平成23年11月27日)

多数の皆様のご参加をいただき、盛会のうちに無事終了することができました。

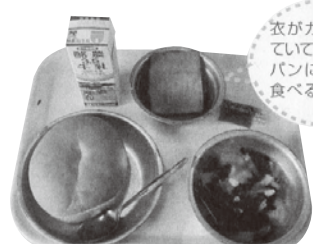
後半は、今村克彦先生による「共に育つということ」というテーマでご講演をいただきました。子供たちの本当の叫びや悩みを肌で感じ、真正面から子供たちに立ち向かい、さまざまな支援をされておられました。そんな実際にあった事を細かくお話しされ、子供たちの教育のあり方を考える良い機会になったものと思います。



ようみてつがさんせ！

周南 ようみんてい

給食センターを取材して



フィッシュバーガー(フィッシュライ)

衣がカリカリして
いておいしい！
パンにはさんで
食べるのが好き。

給食は釜の火を止めてから2時間以内に食べていただくことになっています。

子どもたちの口に入る30分前には校長先生による検食も行われます。朝早くから準備、消毒、調理作業、食缶の積み込み配送、温食等の積み込み配送、午後には調理器具の洗浄、消毒と、戻ってきた食器洗浄、食缶洗浄、熱風乾燥、消毒、それから翌日の準備(各校各クラス毎に)配送車の洗浄と、正に時間との勝負で気を遣う作業です。また異物混入等についても食材毎に一つ一つ全てに職員が目を行き届かせてチェックしています。そんな職員さんたちが一番うれしいのは、やっぱり『おいしかったと言っていっぱい食べてくれること』です。学校給食を支えてくださっている多くの方々に感謝しつつ、子どもたちに「家庭の味」「ふるさとの味」を伝えていかなくては!!と思いました。

周南市立菊川小学校では、1月27日と31日に3年生73人が地元企業(株式会社シマヤ)による「味噌造り出前授業」を体験しました。日本の伝統食品の知識を深めると同時に周南市産の大豆を使用し地域の農産物の利用、食品づくりの楽しさにふれました。



長門 ゐるほっすや



長門市では、小中学校が食育の一層の推進を目的として学期一回の「弁当の日」を実施しています。長門市立深川中学校では、12月22日に2回目の弁当の日が行われ「食育便り」におかずレシピが紹介されていました。

また、平成22年に新築された給食センターでは長門市が直営で市内の学校に給食を届けています。センターには、アレルギー対応の特別食調理コーナーもあり、汚染作業区域と非汚染区域を明確に区分された最新の設備が整っています。地産地消に取り組み、長門産の「めだい」やくじらが登場することもあります。県産週間以外に「ながと食の日」があり、1月27日のながと食の日には、ふぐのみそ汁、長州鶏の香味焼きなどが提供されました。深川小学校では、ながと食の日には放送委員会が食材の説明をされ食の大切さを学んでいます。

みんなをすきに
わたしはすきになりたいな
何でもかんでもみいんな
ねえ、トマトも、おさかなも、
のこすきになりたいな
うちのおかずは、みいんな
おかあさまがおつくりになったもの。
わたしはすきになりたいな
だれでもかれでもみいんな
お医者さんでも、からすでも、
のこすきになりたいな
世界のものはみいんな、
神さまがおつくりになったもの。
金子みすゞ童謡集
『わたしと小鳥とすずとこ』
(JULIA出版局より)

【山口県内の各地で食への工夫がなされていますのでご紹介します！】

田布施 ようみんてい

田布施町学校給食センターの取り組みについて



田布施町学校給食センターは、田布施中学校の敷地内にあり、町内の小学校5校、中学校1校の給食の約1,400食を調理し、出来立ての給食を速やかに提供するように努力しております。

日々の献立は、県産の食材をできるだけ取り入れ、地場産週間では、特に旬の食材を中心としたメニューに心がけています。例としては、田布施農工高等学校と連携し、生徒が作った、たけのこの水煮や町内で生産されたいちごやイチジクのジャムなどがあります。

こうした、地場産の食材を献立に取り入れることで、県内、町内の旬の食材を知ることにより、郷土の食材のすばらしさや食に関わる人々との深いつながりを感じとり、ひいては日本の食文化のすばらしさを感じていただければと思っております。

下関 ようみんてい

お弁当の日 下関市立内日小学校



内日小学校では、5・6年生が、毎月1回自分自身で家族の協力を得ながらお弁当作りに取り組んでいます。これは、「お弁当をすることにより、家族との会話を増やし、親子の絆を深め、食への感謝の気持ちを育てる」ことをねらいとしています。家庭科の時間にそれぞれが1品ずつおかずを作ることから始め、自分で献立を立て、朝早く起きてお弁当を作る事が出来るようになりました。今では、みんなお弁当の日を大変楽しみにしています。

～東日本大震災復興に向けて～ 山口県PTA連合会の取り組み

東北地方太平洋沖地震では、死者、行方不明者は2万人近くにもものぼり、多くの人々が避難生活を余儀なくされました。家族や家を失った彼らの悲しみ、つらさ、苦労を考えると胸が痛みます。今こそ、みんなで助け合い、支え合ってよりよい明日へ進んでいく時です。山口県PTA連合会では、会長を中心に視察団を派遣し、現地の様子について県P連ホームページを通じて皆様へ御報告させていただいています。



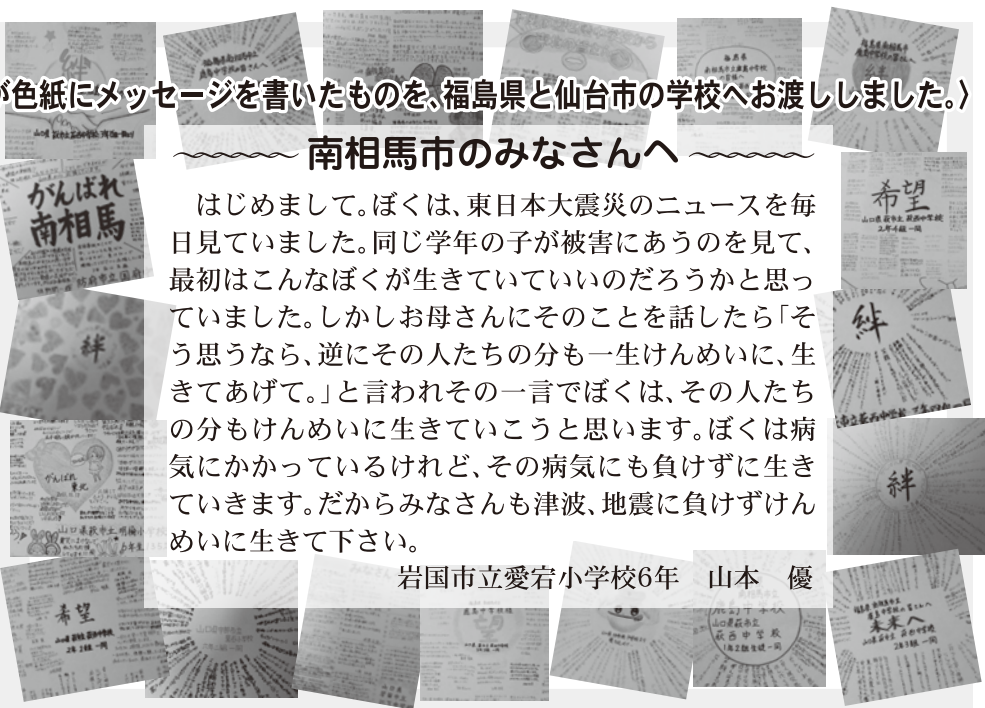
【南相馬市へ視察】
日 時：11月20日(日) 8:30～16:00
場 所：福島県南相馬市、小高小学校、鹿島中学校
小高小学校4年生と給食を食べました。メニューはカレーライスとお豆のサラダと牛乳でした。その時に、福島にはみかんがないと聞いて、山口市から12月4日、周防大島から12月9日にみかんを送りました。

【仙台市内 中野小学校へ視察】
日 時：11月23日(水) 11:30～15:00
場 所：仙台市、中野小学校、荒浜小学校
荒浜小学校、中野小学校では、津波に対する避難訓練をしていました。校舎の3階、4階は毛布など備蓄が用意されていて、学校付近の住民も避難されました。仙台市の会長さんが、「避難訓練は手をぬかずにやること！」と話されました。

〈山口県内の役員さんの学校の子どもたちが色紙にメッセージを書いたものを、福島県と仙台市の学校へお渡ししました。〉

県P連より「福島県の学校にみかんを送りたいのだが…」と相談があり、みかんなら大島、みかん代金ぐらい大島でどうにかしなければと、JAや飲み仲間へ声をかけたところ、みんな快くカンパしてくれました。子供たちが、このみかんを頬張るほんのひと時だけでも、地震のことを忘れてもらえたらとみかんの味にはこだわり美味しいみかんを送らせていただきました。

周防大島町PTA連合会 前崎浩二



南相馬市のみなさんへ

はじめまして。ぼくは、東日本大震災のニュースを毎日見ていました。同じ学年の子が被害にあうのを見て、最初はこんなぼくが生きていていいのだろうかと思っていました。しかしお母さんにそのことを話したら「そう思うなら、逆にその人たちの分も一生けんめいに、生きてあげて。」と言われその一言でぼくは、その人たちの分もけんめいに生きていこうと思います。ぼくは病気にかかっているけれど、その病気にも負けずに生きていきます。だからみなさんも津波、地震に負けずけんめいに生きて下さい。

岩国市立愛宕小学校6年 山本 優